

第2章 前提条件の整理

2-1 上位関連計画

2-2 小山市の概要

2-1 上位関連計画

1) 小山市総合計画 [平成18年3月策定]

小山市総合計画では「交通体系」において、公共交通機関の整備・充実を以下のとおり定めている。

■ 基本方針

自動車依存を緩和しつつ、多様な交通手段で安全で快適に移動できる交通ネットワークを形成します。このため、鉄道・バスの輸送力強化やサービスの向上、施設整備などの利便性向上を進めるなど、公共交通の利用を促進し、自動車交通との適正な役割分担を図りながら、高齢者や障害者にもやさしい移動環境と自然環境に配慮した交通システムの構築を進めます。

■ 個別施策

個別施策として「公共交通機関の整備、充実」のなかで、「地域コミュニティバスの運行」を定めている。

| 2. 公共交通機関の整備・充実 | |
|-----------------------|--|
| II 2-2 鉄道交通の増強・サービス向上 | 東北新幹線の輸送力増強／両毛線の複線化／駅等各種施設の整備・充実の推進 |
| バス交通の維持・存続 | 既存バス路線の維持・存続、サービス向上についての関係機関への要請／サイクル&バスライド*、パーク&バスライド*の利用検討 |
| I 1-2 地域コミュニティバス*の運行 | コミュニティバス運行の展開と総合的ネットワークの形成（市街地循環バス・地域コミュニティバス） |
| 新交通システムの検討 | 環境に配慮した利便性の高い新交通システムの検討 |

■ 主要事業

主要事業として「地域コミュニティバス運行事業」を定めている。

| | |
|----------------------|---|
| I 1-2 地域コミュニティバス運行事業 | コミュニティバスの運行により、市民の移動利便性の向上や道路交通環境の改善、交通不便地域や高齢者等の交通弱者への対応、交通ネットワークの整備を図ります。 |
|----------------------|---|

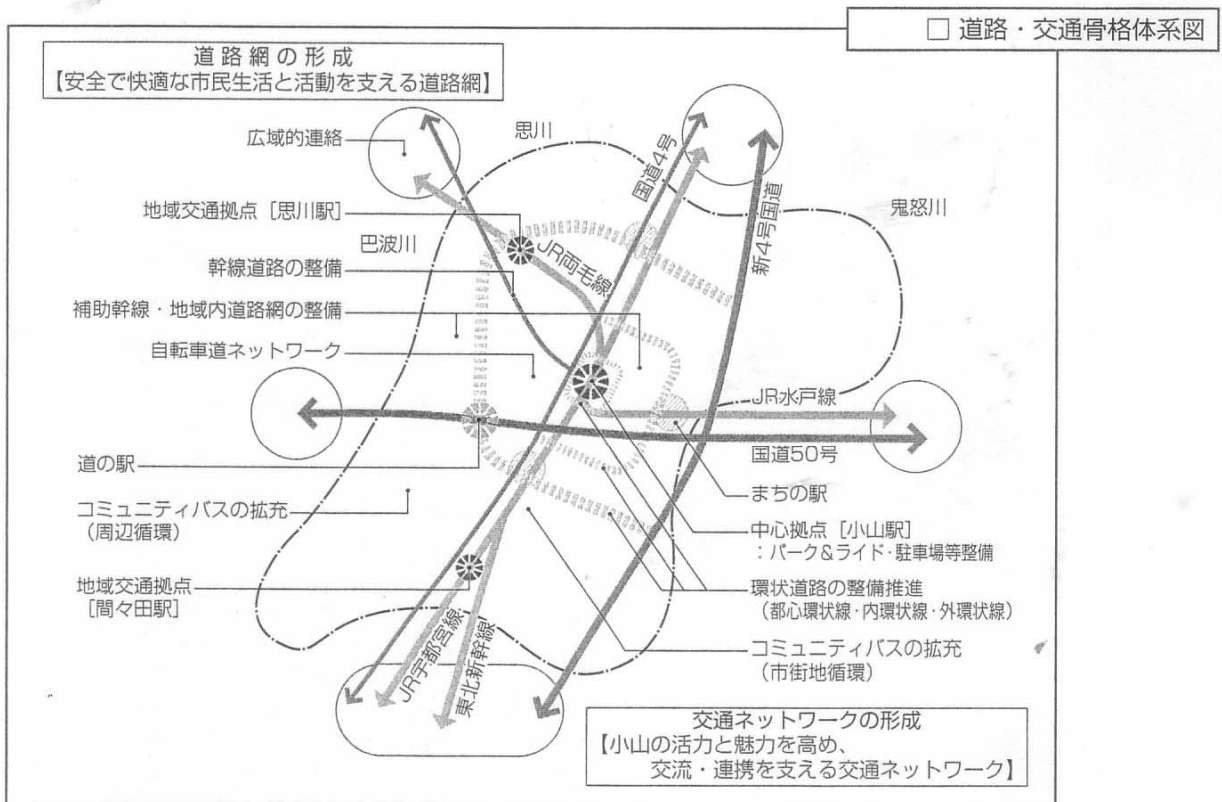
2) 小山市都市計画マスタープラン [平成17年1月策定]

都市計画マスタープランにおいては、「道路・交通体系の整備の方針」において「交通ネットワークの形成」として以下の基本的な考え方を整理している。

■ 基本的な考え方

【小山の活力と魅力を高め、交流・連携を支える交通ネットワーク】

自動車依存を緩和しつつ、多様な交通手段で安全・快適に移動できる交通ネットワークを形成します。また、高齢社会やノーマライゼーションに対応した人にやさしい移動環境とともに、環境への負荷低減に配慮した環境にやさしい交通システムを構築します。



3) 小山市総合都市交通計画 [平成17年3月策定]

小山市では、自動車依存を緩和し、公共交通など交通手段の役割分担に配慮したまちづくりの推進を目指しており、公共交通、歩行者・自転車交通、駐車場道路について、小山市の特性を活かした小山らしい総合的な都市交通計画を目的として策定したものである。

■ 計画理念と計画目標

計画理念と計画目標を以下のとおりとし、「自動車依存の緩和」「街の活力・魅力向上」「広域交流・連携」を公共交通の役割としている。

【計画理念】

『小山の拠点性を図りつつ、新しい快適生活を創出する交通体系の確立』

多様な移動方法が選択できる

自動車がなくても、安心して快適に移動できる

さまざまな交通のつながりで新しい街の魅力がつけられる

【計画目標】

自動車依存を緩和しつつ、快適に暮らせる交通体系の構築

- ① ノーマライゼーションに対応した公共交通網の強化
- ② 多様な交通移動を支援する自転車走行環境の拡充
- ③ シームレス、モーダルシフト推進に向けた駐車場、駐輪場の適正な機能配置
- ④ 快適、安全な市民生活、活動を支える体系的な道路網の充実

小山の街の活力・魅力を高める交通体系の構築

- ① 中心市街地の魅力を高める交通ネットワークの形成
- ② 市内主要拠点間の連携を支える交通ネットワークの拡充
- ③ 広域交通、市内交通の整序化を図る幹線交通網の拡充

広域交流・連携による発展を支える交通体系の構築

- ① 広域交通拠点である小山駅への多様なアクセス交通網の拡充
- ② 全国、県内外との交流・連携による産業活性化を支える広域交通網の拡充
— 鉄道、高速道路、主要幹線道路 —

■ 公共交通利用促進策

市内公共交通の整備方針として、市街地における駅からのバス交通網の整備、郊外部における自転車からの乗り継ぎやデマンド交通の整備などを掲げている。

公共交通利用促進方針

市内のどこからでも、市民や来訪者が、便利で快適に移動できるように、既存のバス交通も活用して、利用者ニーズに応じた柔軟な公共交通ネットワークを形成します。

- ◎市街地では小山駅を中心に各方向へのバス運行を目指します。
- 小山駅から概ね2キロ圏では、徒歩でバス停に行けるようなバス網を形成します。
- 概ね2キロ圏外では、自転車からの乗り継ぎ策（C&BR）や郊外バスとの結節を図ります。

駅東循環バスの利用促進策
運行ルート・ダイヤの改善・工夫

駅西循環バスの実験運行
実験運行による利用の定着・運行改善

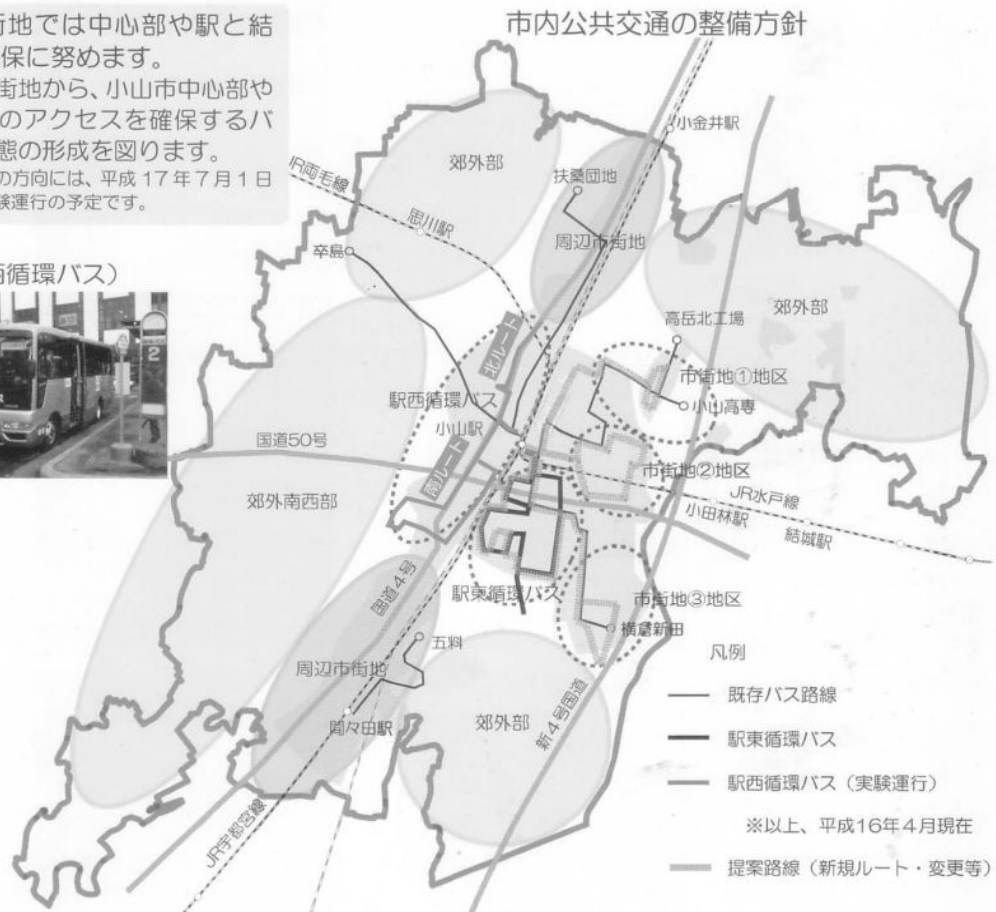
市街地①地区の方針
路線バスの継続・中間ルート変更等の改善
市街地②地区の方針
企業バスへの周辺住民の混乗、昼間はバス車両の活用
市街地③地区の方針
C & B R、路線バス運行の継続・ルート変更等の改善

- ※ 駅東循環バスは、平成 14 年 2 月 1 日からの実験運行を経て、平成 16 年 4 月 1 日から本格運行しています。
- ※ 駅西循環バスは、平成 16 年 3 月 1 日から実験運行しています。

- ◎周辺市街地では中心部や駅と結ぶバスの確保に努めます。
- 带状の市街地から、小山市中心部や鉄道駅へのアクセスを確保するバス路線形態の形成を図ります。
- ※ 間々田の方向には、平成 17 年 7 月 1 日から実験運行の予定です。



(駅西循環バス)



- ◎郊外部では生活の足を確保する公共的な交通サービスを展開します。
- 地域のニーズ・需要量に応じて、バスタイプに限らず、乗合タクシータイプやデマンドタイプなどの公共交通の導入実現を図ります。
- ※ 郊外南西部では 平成 17 年 7 月 1 日から実験運行の予定です

4) 小山市バス交通整備計画 [平成18年3月策定]

この計画は、小山市民の生活利便性向上や交通弱者の移動手段確保のため、また環境に優しい社会づくりの視点や、総合交通体系に基づく公共交通手段の役割等をふまえながら、本市における今後のバス交通整備のあり方や整備方策等について定めたものである。

■バス交通整備の目標

総合的な観点から小山市バス交通整備によって実現されるべき「目標」を、以下のよ
うに6つにとりまとめている。

① 人や環境に優しい総合交通体系の実現への寄与 [総合交通体系]

自家用車だけに依存せず、公共交通機関への転換による交通弱者の移動交通手段の確保や環境負荷の低減など、人や環境に優しく、様々な交通手段がそれぞれの利用特性にあわせて効率的に機能する、「チェーンモビリティ*」ともいうべき総合交通体系の一端を担う整備であること。

② 生活・地域に密着した移動交通手段の確保 [生活利便性]

自家用車に代わる軽便な「生活の足」としての能力を最大限に発揮し、小山市全体そして地域の需要量にきめ細かに対応し、市民生活の利便性向上に資する交通手段となること。

③ バス停留所周辺における安全性確保への配慮 [安全性の確保]

バス利用者と歩行者等の通行動線が交差するバス停留所周辺において、地元と協調した整備の方向性も視野に入れつつ、安全かつ快適にバスを待つことができる環境整備が図られること。

④ 小山スタイルの個性的なバスとネットワーク形成 [個性]

様々な路線を可能な範囲で効率的に組み合わせ、きめ細かに市域を網羅したネットワークを形成すると共に、まちなみを彩り、また市民に愛着をもたれるような素材としてのバス車輛導入を図ることで、小山スタイルのバス交通環境を形成すること。

⑤ 市民・企業・行政がともに支えるバス交通の実現 [役割分担]

一部を除いて採算性の保持が難しいバス経営にあって、事業参入と展開機会の拡大を促す法改正を上手にとらえながら、企業、市民、行政の役割が明解で、適正でかつ偏りのない運営の枠組みを構築すると共に、三位一体となった利用拡大活動を行うこと。

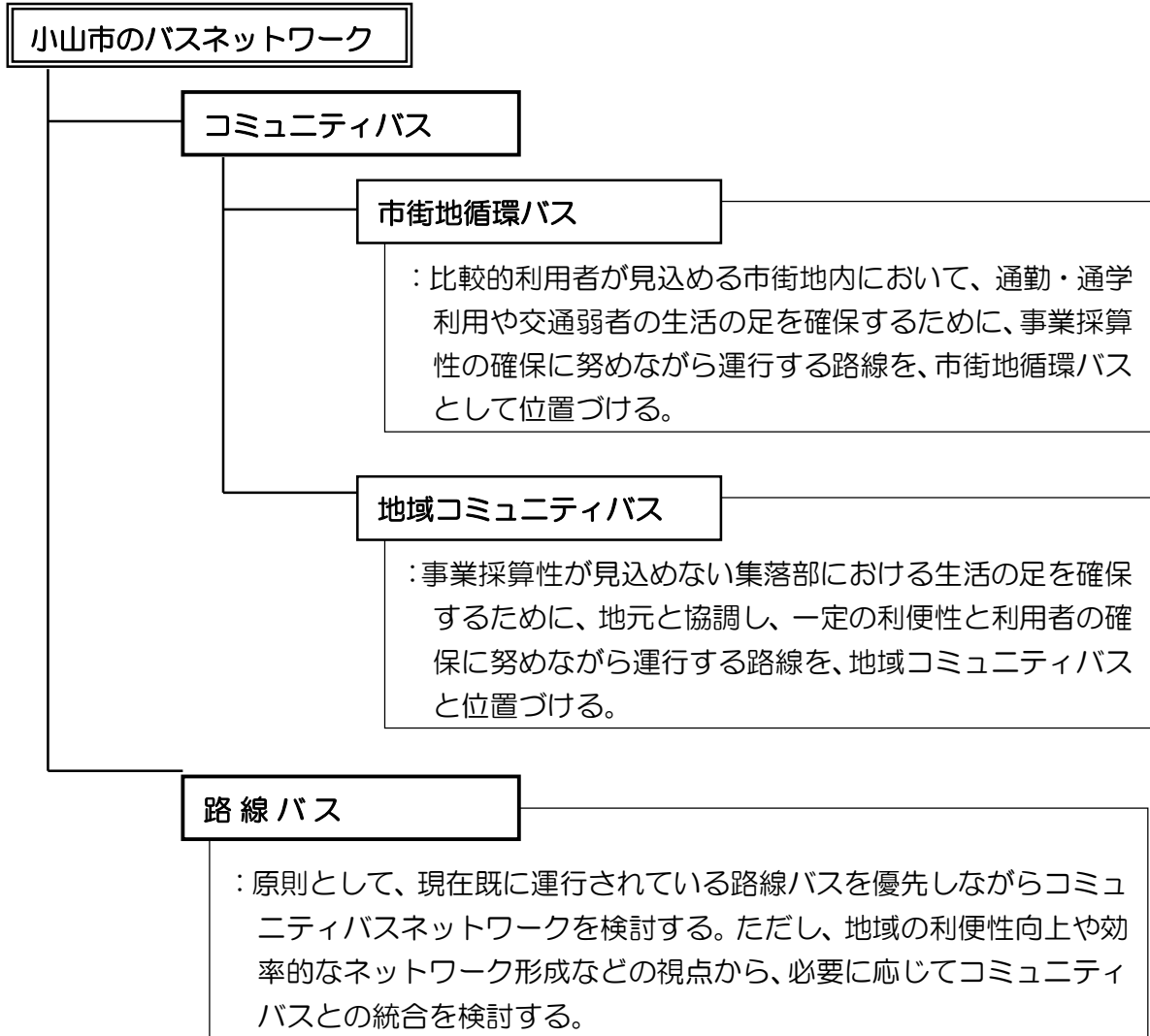
⑥ 総合的土地利用施策に寄与・合致するバスネットワークの展開 [市の施策との整合]

小山市の様々な生活環境・都市整備施策との関係に十分留意しつつ、土地利用等の誘導にも寄与していくバスネットワークの段階的整備を行うこと。

【チェーンモビリティ】様々な手段を効率的に組み合わせ（チェーン）で移動（モビリティ）できる交通体系のこと。非常に便利な個人的移動手段である自家用車依存社会から、公共交通機関への転換を推進するには、総合的な利便性の確保が重要になる。

■ 小山市におけるバス路線の位置づけ

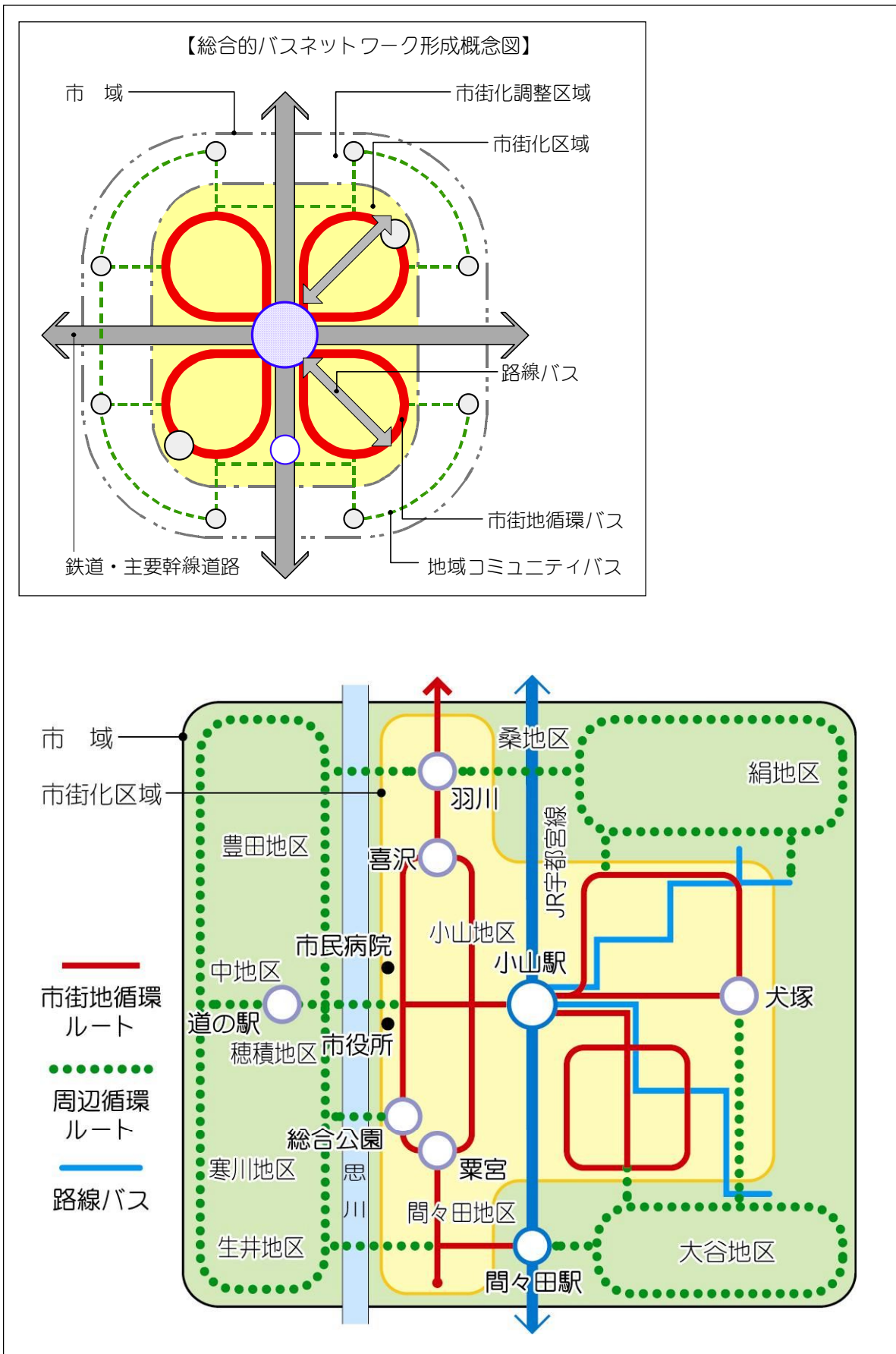
これまで実験運行してきた路線設定をふまえ、また必要に応じて路線の分割・統合などを行いながら、地域特性に応じたコミュニティバス（市街地循環バス・地域コミュニティバス）、及び既存の路線バスを位置づけ、小山市全体のバスネットワークを形成する。



（路線設定の留意点）

- ・バス事業者との協議により一部の路線バスを統合する方向で検討するが、他の路線については原則として既存の路線バスと競合しないよう路線を設定する。
- ・小山駅・間々田駅を基点とし、各自治会を連絡する路線とするが、その際は公共施設や福祉施設、医院等を経由するよう留意する。
- ・小型バスでも運行可能な道路幅員の道路を選択し、スクールゾーン指定の道路については、指定時間帯の運行を避ける。
- ・地域コミュニティバスについては、実験運行時の利用状況や運行経費等を総合的に勘案し、必要に応じて、乗合タクシーによる運行も検討する。

□ 小山市における総合的バスネットワーク形成の基本的考え方



5) 小山市環境都市宣言 [平成20年6月]

環境都市宣言では「省資源、省エネルギーによる温室効果ガス排出の削減」を目標のひとつとしている。

本計画の推進によって「自家用車からコミュニティバスへの利用転換」をはかることは、その実現に資するものとするものである。

環 境 都 市 宣 言

～地球温暖化防止に向けて～

わたしたちが住む小山市は、思川をはじめとする豊かな水辺や数多くの平地林、広大な田畑などの自然環境に恵まれ、「水と緑と大地」の豊かなまちを形づくっています。

この自然の恵みをふんだんに受けながら、郷土の歴史を重んじて、産業の育成に努め、現在の素晴らしいまちに発展させることができました。

一方、便利で快適な暮らしは、身近な緑や水辺や動植物の減少をもたらすとともに、地球環境へ負担をかけつづけ、地球温暖化という形で、わたしたちの生活に大きな影響を与えはじめています。

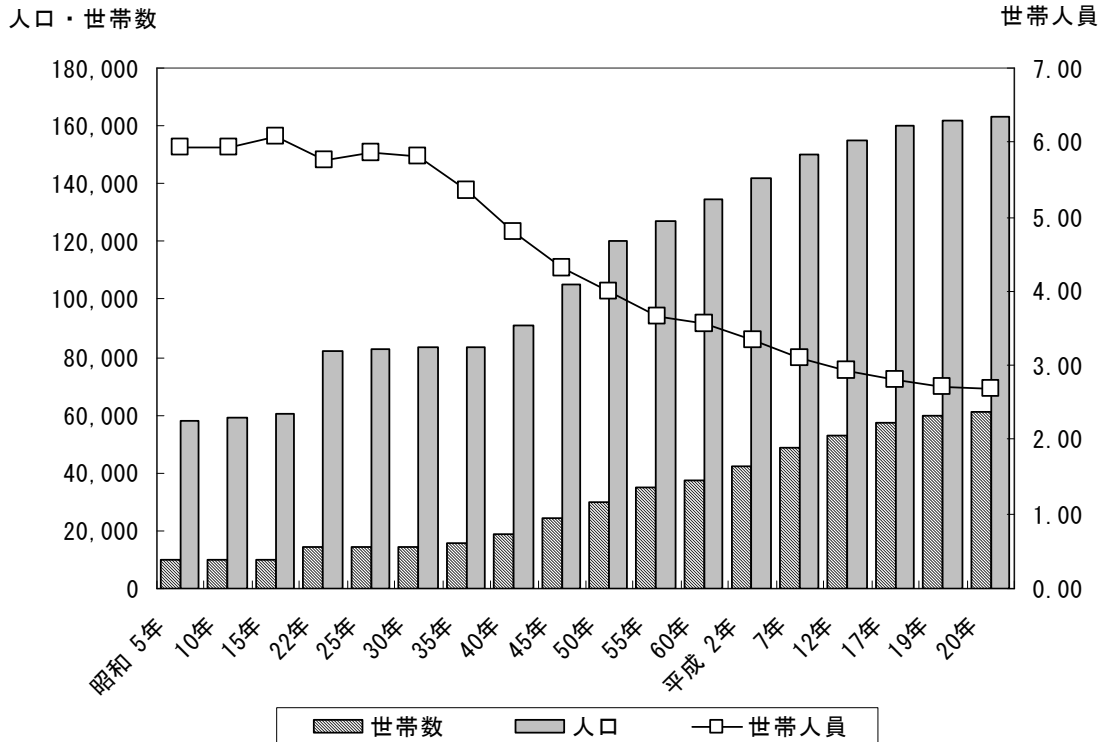
わたしたちは、環境の大切さを自覚するとともに、一人ひとりが協力して、この自然の恵みあふれるまちを大切に、「水と緑と大地」の豊かさを次代に引きつぐため、次のことを実践することとし、ここに小山市を環境都市とすることを宣言します。

- 1 河川や緑や田畑を守り育み、おいしい水と空気を未来につなげます。
- 1 省資源、省エネルギーに努めるとともに、バイオマスなどの新エネルギーを活用して、温室効果ガス排出の削減に努めます。
- 1 豊かな「水と緑と大地」や身近な動植物とふれあい、自然を愛する心を育てます。
- 1 一人ひとりが環境の大切さを自覚して、地球環境保全のために協力して行動します。

2) 人口及び世帯

小山市の人口と世帯数は、経年的に増加傾向にあり、平成20年10月1日現在の人口163,129人、60,882世帯、一世帯当たり人員は2.68人／世帯となっている。

■ 小山市の人口・世帯数・世帯人員の推移



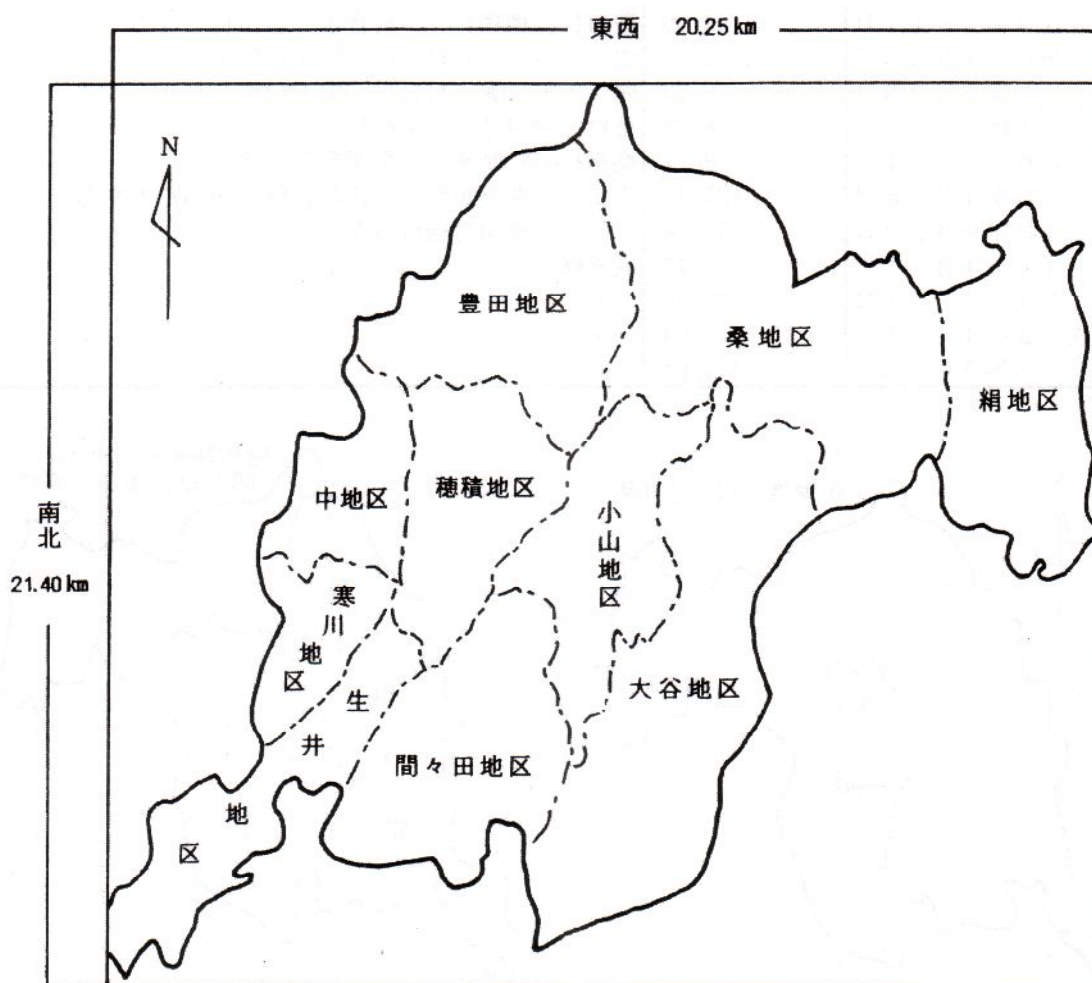
| 年 別 | 世帯数 | 人 口 | | | 年平均増加率 |
|-------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | 総 数 | 男 | 女 | |
| 昭和50年 | 30,079 | 120,264 | 60,503 | 59,761 | 2.8% |
| 増減率 | 23.2% | 14.2% | 14.7% | 13.6% | |
| 昭和55年 | 34,808 | 127,226 | 63,949 | 63,277 | 1.2% |
| 増減率 | 15.7% | 5.8% | 5.7% | 5.9% | |
| 昭和60年 | 37,625 | 134,242 | 67,247 | 66,995 | 1.1% |
| 増減率 | 8.1% | 5.5% | 5.2% | 5.9% | |
| 平成2年 | 42,409 | 142,262 | 71,588 | 70,674 | 1.2% |
| 増減率 | 12.7% | 6.0% | 6.5% | 5.5% | |
| 平成7年 | 48,299 | 150,115 | 75,814 | 74,301 | 1.1% |
| 増減率 | 13.9% | 5.5% | 5.9% | 5.1% | |
| 平成12年 | 52,760 | 155,198 | 78,196 | 77,002 | 0.7% |
| 増減率 | 9.2% | 3.4% | 3.1% | 3.6% | |
| 平成17年 | 57,225 | 160,150 | 80,723 | 79,427 | 0.6% |
| 増減率 | 8.5% | 3.2% | 3.2% | 3.1% | |
| 平成20年 | 60,882 | 163,129 | 82,485 | 80,644 | 0.6% |
| 増減率 | 6.4% | 1.9% | 2.2% | 4.1% | |

資料：国勢調査・毎月人口調査（各年10月1日現在）

■ 地区別面積・人口・世帯数

(平成20年10月1日現在)

| 地区名 | 面積 (km ²) | 世帯数 | 計 | 男 | 女 | 世帯人員 | 人口密度 (人/km ²) | 人口 構成比 (%) |
|-------|--------------------------|--------|---------|--------|--------|------|------------------------------|------------------|
| 総数 | 171.61 | 60,882 | 163,129 | 82,485 | 80,644 | 2.68 | 950.6 | 100.0 |
| 小山地区 | 13.92 | 21,847 | 51,804 | 26,552 | 25,252 | 2.37 | 3,721.6 | 31.8 |
| 大谷地区 | 30.36 | 15,069 | 39,354 | 20,360 | 18,994 | 2.61 | 1,296.2 | 24.1 |
| 間々田地区 | 18.21 | 9,538 | 27,085 | 13,387 | 13,698 | 2.84 | 1,487.4 | 16.6 |
| 生井地区 | 12.26 | 651 | 2,190 | 1,089 | 1,101 | 3.36 | 178.6 | 1.3 |
| 寒川地区 | 6.43 | 506 | 1,702 | 842 | 860 | 3.36 | 264.7 | 1.0 |
| 豊田地区 | 20.91 | 2,270 | 7,536 | 3,667 | 3,869 | 3.32 | 360.4 | 4.6 |
| 中地区 | 8.72 | 764 | 2,675 | 1,333 | 1,342 | 3.50 | 306.8 | 1.6 |
| 穂積地区 | 12.99 | 1,859 | 4,730 | 2,412 | 2,318 | 2.54 | 364.1 | 2.9 |
| 桑地区 | 30.54 | 6,862 | 20,817 | 10,286 | 10,531 | 3.03 | 681.6 | 12.8 |
| 絹地区 | 17.27 | 1,516 | 5,236 | 2,557 | 2,679 | 3.45 | 303.2 | 3.2 |



■ 地区別人口の推移

(単位：人)

| 地区 年次 | 小 山 | 大 谷 | 間々田 | 生 井 | 寒 川 | 豊 田 | 中 | 穂 積 | 桑 | 絹 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成2年 | 40,144 | 31,897 | 22,971 | 2,788 | 2,059 | 8,347 | 3,181 | 5,094 | 19,782 | 5,999 |
| 3年 | 41,274 | 32,848 | 23,355 | 2,756 | 2,029 | 8,358 | 3,137 | 5,109 | 19,993 | 6,016 |
| 増減率(%) | 2.81 | 2.98 | 1.67 | ▲ 1.15 | ▲ 1.46 | 0.13 | ▲ 1.38 | 0.29 | 1.07 | 0.28 |
| 4年 | 41,659 | 33,275 | 23,868 | 2,759 | 2,025 | 8,344 | 3,145 | 5,087 | 20,359 | 5,966 |
| 増減率(%) | 0.93 | 1.30 | 2.20 | 0.11 | ▲ 0.20 | ▲ 0.17 | 0.26 | ▲ 0.43 | 1.83 | ▲ 0.83 |
| 5年 | 42,238 | 33,624 | 24,178 | 2,731 | 2,039 | 8,288 | 3,162 | 5,061 | 20,399 | 5,993 |
| 増減率(%) | 1.39 | 1.05 | 1.30 | ▲ 1.01 | 0.69 | ▲ 0.67 | 0.54 | ▲ 0.51 | 0.20 | 0.45 |
| 6年 | 42,250 | 33,984 | 24,548 | 2,689 | 2,035 | 8,277 | 3,132 | 5,051 | 20,484 | 5,988 |
| 増減率(%) | 0.03 | 1.07 | 1.53 | ▲ 1.54 | ▲ 0.20 | ▲ 0.13 | ▲ 0.95 | ▲ 0.20 | 0.42 | ▲ 0.08 |
| 7年 | 43,188 | 34,595 | 24,905 | 2,652 | 1,999 | 8,189 | 3,108 | 5,253 | 20,335 | 5,891 |
| 増減率(%) | 2.22 | 1.80 | 1.45 | ▲ 1.38 | ▲ 1.77 | ▲ 1.06 | ▲ 0.77 | 4.00 | ▲ 0.73 | ▲ 1.62 |
| 8年 | 43,775 | 35,104 | 25,112 | 2,666 | 1,973 | 8,097 | 3,083 | 5,254 | 20,522 | 5,886 |
| 増減率(%) | 1.36 | 1.47 | 0.83 | 0.53 | ▲ 1.30 | ▲ 1.12 | ▲ 0.80 | 0.02 | 0.92 | ▲ 0.08 |
| 9年 | 45,640 | 34,416 | 25,173 | 2,648 | 1,944 | 8,090 | 3,062 | 5,209 | 20,793 | 5,845 |
| 増減率(%) | 4.26 | ▲ 1.96 | 0.24 | ▲ 0.68 | ▲ 1.47 | ▲ 0.09 | ▲ 0.68 | ▲ 0.86 | 1.32 | ▲ 0.70 |
| 10年 | 46,095 | 34,807 | 25,481 | 2,606 | 1,918 | 7,969 | 3,041 | 5,204 | 20,785 | 5,803 |
| 増減率(%) | 1.00 | 1.14 | 1.22 | ▲ 1.59 | ▲ 1.34 | ▲ 1.50 | ▲ 0.69 | ▲ 0.10 | ▲ 0.04 | ▲ 0.72 |
| 11年 | 46,427 | 35,023 | 25,830 | 2,579 | 1,914 | 7,937 | 3,020 | 5,158 | 20,728 | 5,753 |
| 増減率(%) | 0.72 | 0.62 | 1.37 | ▲ 1.04 | ▲ 0.21 | ▲ 0.40 | ▲ 0.69 | ▲ 0.88 | ▲ 0.27 | ▲ 0.86 |
| 12年 | 46,719 | 35,473 | 25,990 | 2,534 | 1,909 | 7,833 | 2,963 | 5,083 | 21,013 | 5,681 |
| 増減率(%) | 0.63 | 1.28 | 0.62 | ▲ 1.74 | ▲ 0.26 | ▲ 1.31 | ▲ 1.89 | ▲ 1.45 | 1.37 | ▲ 1.25 |
| 13年 | 47,576 | 35,976 | 26,348 | 2,494 | 1,883 | 7,790 | 2,958 | 5,041 | 20,826 | 5,662 |
| 増減率(%) | 1.83 | 1.42 | 1.38 | ▲ 1.58 | ▲ 1.36 | ▲ 0.55 | ▲ 0.17 | ▲ 0.83 | ▲ 0.89 | ▲ 0.33 |
| 14年 | 47,606 | 36,501 | 26,391 | 2,475 | 1,853 | 7,848 | 2,895 | 5,026 | 20,778 | 5,676 |
| 増減率(%) | 0.06 | 1.46 | 0.16 | ▲ 0.76 | ▲ 1.59 | 0.74 | ▲ 2.13 | ▲ 0.30 | ▲ 0.23 | 0.25 |
| 15年 | 48,162 | 36,720 | 26,517 | 2,455 | 1,832 | 7,759 | 2,873 | 5,006 | 20,829 | 5,634 |
| 増減率(%) | 1.17 | 0.60 | 0.48 | ▲ 0.81 | ▲ 1.13 | ▲ 1.13 | ▲ 0.76 | ▲ 0.40 | 0.25 | ▲ 0.74 |
| 16年 | 48,824 | 37,077 | 26,475 | 2,408 | 1,787 | 7,683 | 2,869 | 4,971 | 20,954 | 5,615 |
| 増減率(%) | 1.37 | 0.97 | ▲ 0.16 | ▲ 1.91 | ▲ 2.46 | ▲ 0.98 | ▲ 0.14 | ▲ 0.70 | 0.60 | ▲ 0.34 |
| 17年 | 49,537 | 37,516 | 26,631 | 2,362 | 1,769 | 7,624 | 2,812 | 4,895 | 20,950 | 5,527 |
| 増減率(%) | 1.46 | 1.18 | 0.59 | ▲ 1.91 | ▲ 1.01 | ▲ 0.77 | ▲ 1.99 | ▲ 1.53 | ▲ 0.02 | ▲ 1.57 |
| 18年 | 50,007 | 38,448 | 26,818 | 2,278 | 1,737 | 7,599 | 2,744 | 4,886 | 20,872 | 5,409 |
| 増減率(%) | 0.95 | 2.48 | 0.70 | ▲ 3.56 | ▲ 1.81 | ▲ 0.33 | ▲ 2.42 | ▲ 0.18 | ▲ 0.37 | ▲ 2.13 |
| 19年 | 50,898 | 38,889 | 26,947 | 2,243 | 1,722 | 7,532 | 2,735 | 4,828 | 20,823 | 5,335 |
| 増減率(%) | 1.78 | 1.15 | 0.48 | ▲ 1.54 | ▲ 0.86 | ▲ 0.88 | ▲ 0.33 | ▲ 1.19 | ▲ 0.23 | ▲ 1.37 |
| 20年 | 51,804 | 39,354 | 27,085 | 2,190 | 1,702 | 7,536 | 2,675 | 4,730 | 20,817 | 5,236 |
| 増減率(%) | 1.78 | 1.20 | 0.51 | ▲ 2.36 | ▲ 1.16 | 0.05 | ▲ 2.19 | ▲ 2.03 | ▲ 0.03 | ▲ 1.86 |

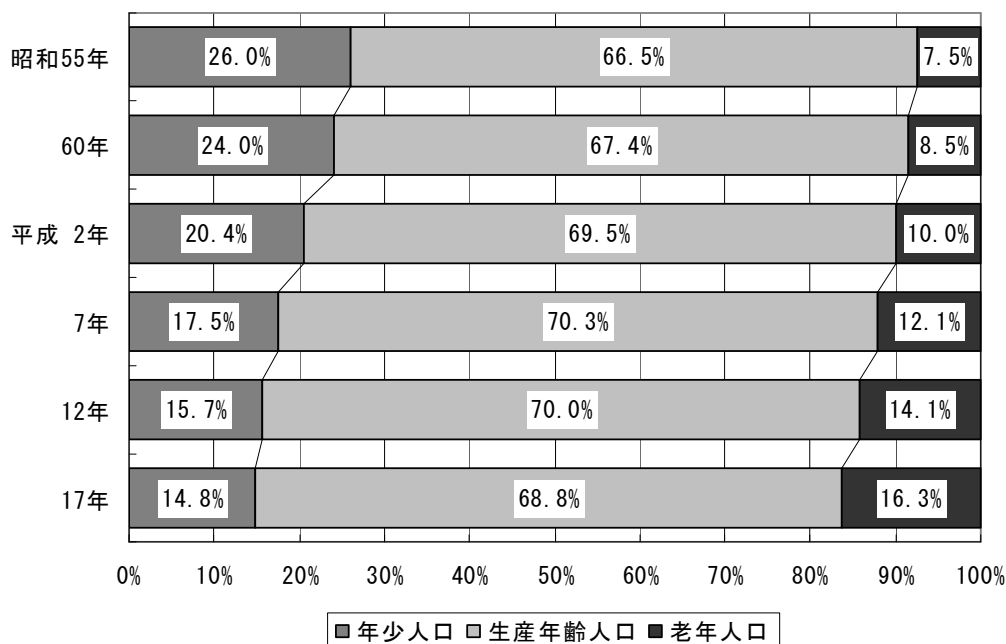
資料：国勢調査・毎月人口調査（各年10月1日現在）

小山市における年齢別人口構成の推移を見ると、15歳未満の年少人口の割合が経年的に減少し、一方、65歳以上の老年人口の割合が増加している。

平成17年における年少人口の割合は14.8%、生産年齢人口は68.8%、老年人口は16.3%となっている。

また、全国においては順に13.7%、65.8%、20.1%、栃木県においては順に14.1%、66.3%、19.4%となっており、本市は比較的若い世代が多いと言える。

■ 小山市の年齢別人口構成の推移



| | 総数 | 年少人口 (15歳未満) | 生産年齢人口 (15～64歳) | 老年人口 (65歳以上) |
|-------|---------|-----------------|--------------------|-----------------|
| 昭和55年 | 127,226 | 33,137 | 84,596 | 9,490 |
| 昭和60年 | 134,242 | 32,251 | 90,529 | 11,462 |
| 平成2年 | 142,262 | 29,007 | 98,888 | 14,225 |
| 平成7年 | 150,115 | 26,252 | 105,549 | 18,138 |
| 平成12年 | 155,198 | 24,439 | 108,634 | 21,912 |
| 平成17年 | 160,150 | 23,638 | 110,254 | 26,130 |

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

| | 年少人口 (15歳未満) | 生産年齢人口 (15～64歳) | 老年人口 (65歳以上) | 年齢不詳 |
|-----|-----------------|--------------------|-----------------|------|
| 小山市 | 14.8% | 68.8% | 16.3% | 0.1% |
| 栃木県 | 14.1% | 66.3% | 19.4% | 0.2% |
| 全国 | 13.7% | 65.8% | 20.1% | 0.4% |

資料：国勢調査（平成17年10月1日現在）

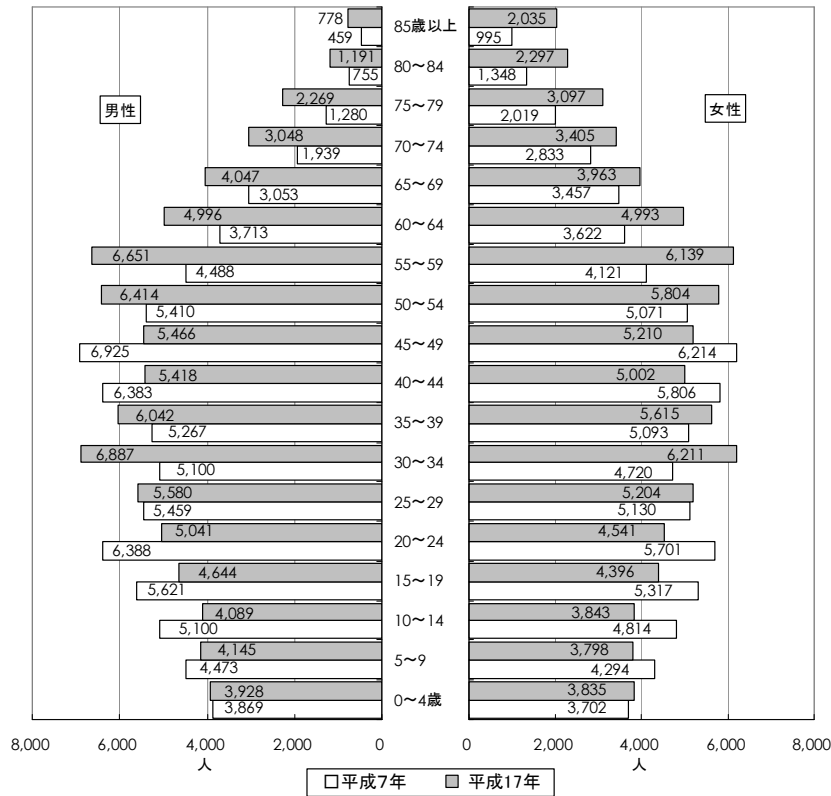
■ 地区別高齢者数及び高齢化率

(単位：人)

| 地 区 | | 小 山 | 大 谷 | 間々田 | 生 井 | 寒 川 | 豊 田 | 中 | 穂 積 | 桑 | 絹 |
|------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高 齢 者 数 | 総 数 | 7,647 | 5,304 | 5,147 | 565 | 472 | 1,831 | 787 | 1,151 | 4,166 | 1,417 |
| | 65～74歳 | 4,297 | 3,112 | 3,113 | 233 | 210 | 895 | 371 | 537 | 2,438 | 621 |
| | 75歳以上 | 3,350 | 2,192 | 2,034 | 332 | 262 | 936 | 416 | 614 | 1,728 | 796 |
| 高齢化率 | | 14.9% | 13.6% | 19.1% | 25.7% | 27.6% | 24.3% | 29.0% | 24.2% | 20.0% | 26.9% |

資料：毎月人口調査（平成20年4月1日現在）

■ 年齢5歳階級男女別人口



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

■ 合計特殊出生率の推移

(人口動態統計・県南健康福祉センター調)

| | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小 山 市 | 1.35 | 1.34 | 1.36 | 1.31 | 1.38 |
| 栃 木 県 | 1.40 | 1.38 | 1.37 | 1.40 | 1.40 |
| 全 国 | 1.32 | 1.29 | 1.29 | 1.26 | 1.32 |

3) 道路・交通

小山市は道路・鉄道ともに、首都東京と東北地方を結ぶ南北軸と北関東をつなぐ東西軸の結節点にあり、交通の要衝地となっている。

広域幹線道路としては、南北方向に市中央部を貫通する国道4号、東側に新4号国道が、東西方向に中央部を貫通する国道50号が整備されている。

鉄道では、南北方向にJR東北新幹線とJR宇都宮線、小山駅を起点に東側の水戸方面を結ぶJR水戸線、西側の高崎方面を結ぶJR両毛線がそれぞれ敷設されている。

また、鉄道駅は市内に3か所あり、市の中央に新幹線や全在来線の停車する小山駅、南側にJR宇都宮線の間々田駅、北西にJR両毛線の思川駅が開設されている。

■ 駅別旅客状況

(東日本旅客鉄道(株)調)

| 年 別 | 小 山 駅 | | | | 間々田駅 | | | |
|-------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|---------|-----------|--------------|
| | 乗車人員 | | | 1日平均 乗車人員 | 乗車人員 | | | 1日平均 乗車人員 |
| | 総 数 | 定期外 | 定 期 | | 総 数 | 定期外 | 定 期 | |
| 平成15年 | 7,914,907 | 3,214,179 | 4,700,728 | 21,625 | 1,591,521 | 361,257 | 1,230,264 | 4,348 |
| 16年 | 7,832,162 | 3,148,329 | 4,683,833 | 21,458 | 1,579,789 | 360,312 | 1,219,477 | 4,328 |
| 17年 | 7,801,698 | 3,101,598 | 4,700,100 | 21,375 | 1,562,960 | 356,627 | 1,206,333 | 4,282 |
| 18年 | 7,784,044 | 3,099,225 | 4,684,819 | 21,326 | 1,552,361 | 350,381 | 1,201,980 | 4,253 |
| 19年 | 7,847,075 | 3,106,457 | 4,740,618 | 21,440 | 1,567,501 | 360,494 | 1,207,007 | 4,282 |

小山駅(H21/11/16)

| 時間帯 | 利用者数(人) |
|-------------|---------|
| 6:00~7:00 | 258 |
| 7:00~8:00 | 817 |
| 8:00~9:00 | 1,567 |
| 9:00~10:00 | 1,817 |
| 10:00~11:00 | 2,019 |
| 11:00~12:00 | 1,637 |
| 12:00~13:00 | 1,425 |
| 13:00~14:00 | 1,288 |
| 14:00~15:00 | 1,241 |
| 15:00~16:00 | 1,357 |
| 16:00~17:00 | 1,506 |
| 17:00~18:00 | 1,671 |
| 18:00~19:00 | 2,101 |
| 19:00~20:00 | 1,966 |
| 20:00~21:00 | 1,662 |
| 21:00~22:00 | 1,551 |
| 合計 | 23,883 |

間々田駅(H21/11/24)

| 時間帯 | 乗車(人) | 降車(人) |
|-------------|-------|-------|
| 5:00~6:00 | 150 | 1 |
| 6:00~7:00 | 910 | 32 |
| 7:00~8:00 | 1,006 | 201 |
| 8:00~9:00 | 337 | 174 |
| 9:00~10:00 | 184 | 52 |
| 10:00~11:00 | 121 | 43 |
| 11:00~12:00 | 100 | 57 |
| 12:00~13:00 | 93 | 65 |
| 13:00~14:00 | 64 | 97 |
| 14:00~15:00 | 59 | 82 |
| 15:00~16:00 | 53 | 97 |
| 16:00~17:00 | 170 | 259 |
| 17:00~18:00 | 174 | 347 |
| 18:00~19:00 | 86 | 400 |
| 19:00~20:00 | 82 | 541 |
| 20:00~21:00 | 25 | 395 |
| 21:00~22:00 | 33 | 290 |
| 合 計 | 3,707 | 3,133 |

■ 国道4号・国道50号の交通量

| 路線名 | 観測地点 | 自動車類交通量 | | | ピーク時間 自動車交通量 (台) | 大型車 混入率 (%) |
|---------|------|-------------|-------------|----------|------------------------|-------------------|
| | | 乗用車類 (台) | 貨物車類 (台) | 計 (台) | | |
| 一般国道 4号 | 東野田 | 8,438 | 15,032 | 23,470 | 2,411 | 44.7 |
| 一般国道 4号 | 中久喜 | 13,593 | 13,184 | 26,777 | 2,958 | 40.4 |
| 一般国道 4号 | 神鳥谷 | 8,529 | 5,210 | 13,739 | 1,291 | 12.3 |
| 一般国道 4号 | 喜 沢 | 12,665 | 4,296 | 16,961 | 1,594 | 10.2 |
| 一般国道50号 | 土 塔 | 21,335 | 11,852 | 33,187 | 3,019 | 23.9 |

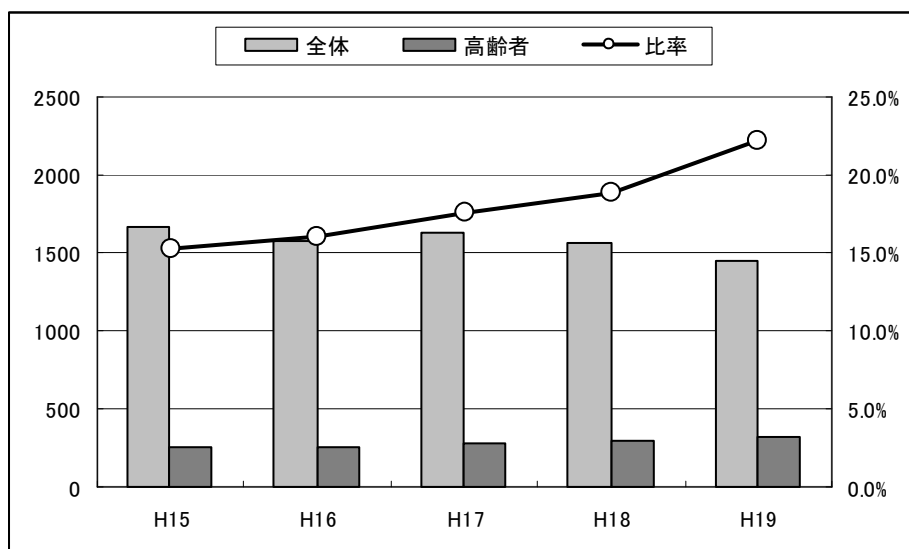
資料：土木課（県道路建設課調・平成17年度道路交通センサス結果）

（注） 平日午前7時から午後7時までの間の交通量

■ 交通事故発生状況

（各年12月31日現在 小山警察署調）

| 年 別 | 件 数 | 死 亡 者 | 負 傷 者 | 全国ワースト順位 (死者数) |
|-------|-------|-------|-------|-------------------|
| 平成15年 | 1,655 | 18 | 2,173 | 6位 |
| 16年 | 1,579 | 13 | 2,068 | 3位 |
| 17年 | 1,622 | 17 | 2,114 | 1位 |
| 18年 | 1,560 | 11 | 2,083 | 32位 |
| 19年 | 1,444 | 18 | 1,851 | 15位 |



このページ不要